

兵庫ブレーバース久保選手が来院！ 笑顔あふれる特別な一日となりました

令和8年3月25日、日本独立リーグ「兵庫ブレーバース」の久保 康友 選手（元阪神タイガース）と（一社）Next Baseball Teams 代表理事の野村 努さんが、重症心身障害患者に元気を届けようと来院されました。

「本物のプロ野球選手をこの目で見たい」－そんな長期入院患者の願いを叶えるため、スタッフの挑戦は令和6年度から始まりました。某在阪球団への依頼は実現しませんでした。患者やスタッフの熱い思いが消えることはなく、令和7年4月、西宮を中心に野球の普及活動を行っている野村さんに相談したところ、兵庫ブレーバース久保選手の訪問という光明が差し込みました。

シーズン中の調整を経て話がまとまり、3月の訪問が正式に決定。患者やスタッフに伝えると病棟の空気は一変しました。普段はイベント準備に消極的な患者も「自分も飾り付けを手伝う」と自発的に行動し、病棟内には驚くほどの活気が生まれました。

「ユニフォーム姿が見たい」「投げる姿を間近で見たい」といった患者の夢を一つでも多く叶えるため、患者とスタッフが一丸となって準備を進め、希望に満ちた当日を迎えました。



当日は、「六甲おろし」が流れる重心病棟と通所を訪問いただき、普段は静かに過ごされている患者も表情を明るくし、目を輝かせていました。プロ選手の体格や放つエネルギーを間近に感じ、病棟内はこれまでにない活気に包まれました。

また、土地柄、虎キチのスタッフも多く、患者同様、スタッフも普段は見せない笑顔で、どこか浮き足だった様子でした。

少子化や中学校部活動の地域移行といった流れの中で、少年野球は転換期を迎えています。そのような時代に、「白球を追うことができる環境を整えていきたい」という野村さんの活動のお話を伺うことができ、大変有意義な時間となりました。



【ご紹介】

■ 久保 康友

社会人野球を経て千葉ロッテマリーンズに入団（新人王獲得）。阪神タイガース、横浜 DeNA ベイスターズで活躍。NPB 退団後は海外でのプレーを経て現在は日本独立リーグ「兵庫ブレイバーズ」で投手として活躍中。

野村さんの熱い思いに共感し、自身も「野球で何か恩返しをしたい」と、Next Baseball Teams での指導や運営に協力し、活動を続けている。

■ 野村 努

一般社団法人 Next Baseball Teams の代表理事。「小・中学校の野球人口激減」および「部活動の地域移行」という流れの中で、「野球の楽しさ、素晴らしさを伝えたい」という思いのもと、地域と一体となったスポーツ組織の新たなモデル構築に取り組んでいる。

